

海に空に、これ以上放射能汚染を広げないよう 再処理工場の稼働凍結を求める署名

六ヶ所核燃料再処理工場は、2006年3月からアクティブ試験が始まり、海や空に放射性物質を放出しています。2009年中に予定されている本格稼働になれば、「海に放出される放射性物質は1年間で原子力発電所の180倍」(2009.3政府答弁)という大量の放射性物質を40年間にわたって環境中に放出し続けることになります。

また、再処理工場には既に240 m³の高レベル放射性廃液が溜まっています。この高レベル廃液は、人間が近づけば数秒で死んでしまうほど危険なもので、発生する水素ガスを抜き、絶えず冷やさなければ沸騰し爆発する恐れもあります。2009年1月には、この高レベル廃液が建屋内に150リットルも漏れる事故が起きましたが、工場では2週間も気づかずにいました。原子力安全・保安院はこの事態を重視、4月になって事業者・日本原燃に保安規定違反にあたる5項目の原因究明と再発防止を指示しています。

これらに加えて2008年5月には、複数の変動地形学者が「工場直下に活断層があり、M8規模の地震が起きる可能性がある」と学会で指摘しています。高レベル放射性廃液の漏えいととともに、地震による冷却用電源の喪失や使用済み核燃料貯蔵プールの冷却水漏失などが、取り返しのつかない巨大大事故の引き金になりかねません。

このように重大な問題が山積していることから、私たちがこの地で安心して生活し、生き続けていけるよう次のことを求めます。

- 一、再処理工場の稼働予定を凍結すること。
- 二、万が一にも高レベル放射性廃液を環境に漏らすことがないように、予防原則にのっとり、あらゆる対策を講ずること。

氏 名	住 所

生活クラブ生活協同組合

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所5-1-11

取扱団体

~~TEL 048-839-4881~~

◎集約団体 (集まった署名用紙は下記3団体のいずれかへご送付ください。)

「三陸の海を放射能から守る岩手の会」 〒020-0004 岩手県盛岡市山岸 6-36-8 永田文夫方

「三陸・宮城の海を放射能から守る仙台の会 (わかめの会)」

〒981-1222 宮城県名取市上余田字千刈田 407 大友佳代子方

「花とハーブの里」 〒039-3215 青森県上北郡六ヶ所村倉内笹崎 1521 菊川慶子方

◎第一次集約：2009年8月31日、最終集約：2009年11月30日。12月に提出の予定です。

◎この署名は、趣旨に賛同できる方ならどなたでもできます。

◎個人情報、目的以外には使用致しません。